

よ り そ う り は そ う

～麻生リハビリ総合病院だより～



CONTENTS

- 1, 「新年のご挨拶」
- 2, Close up! 職員紹介
- 3, 活動報告
- 4, 診療実績報告

表紙：歩行訓練中の患者様と担当の理学療法士。いつも楽しそうなお2人です。

「麻生リハビリ総合病院」は、法人内で『リハ総』という愛称で親しまれています。
『寄り添う』心を大切にする『リハ総』を、どうぞよろしくお願いいたします。



新春のご挨拶

『長寿日本一の町 麻生区』の回復期リハビリテーション病棟として

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は地域の皆様には多大なるご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。当院は4病棟で計180床あり、全病棟が回復期リハビリテーション病棟です。川崎市の回復期リハビリテーション病院としては最も多い病床数を備えている病院であります。回復期リハビリテーション病棟では、急性期治療（脳血管疾患、大腿骨近位部骨折など）が安定し最も回復が見込まれる時期に多職種（医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士など）でチームを組んで集中的なリハビリテーションを行い、患者様の社会復帰を目指します。

当院では毎年新たな取り組みを行っております。昨年は『体操教室』の開催や『ココモ健診』を本格的に開始しました。ココモとは、運動器障害（膝、腰、股関節など）によって移動能力が衰える状態のことで、将来介護が必要になるリスクが高まります。当院のココモ健診は理学療法士のカウンセリング、身体能力の検査・筋肉量の測定などを施行し、検査結果をお伝えするのみならず、改善策をご提案させて頂いております。また「ユマニチュード®」への取り組みも継続的に行っております。「ユマニチュード」とは「人間らしさを取り戻す」という意味をもつ造語で、フランス人が開発したケアの技法です。4つの柱（見る、話す、触れる、立つ）によって大切に思っていることを相手にわかるように伝えることが出来ます。ユマニチュードの専門講師による研修を、当院の看護師の83.7%がすでに受講しており、更なる多職種への浸透を目指している段階です。

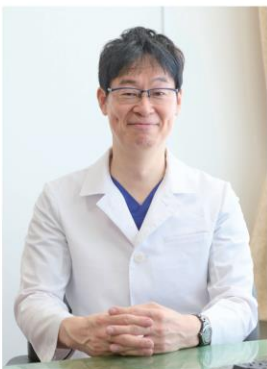
また、昨年10月に、当院は開院23年目を迎えることが出来ました。これも地域住民の方々、近隣の急性期病院やクリニック、介護保険事業所、療養型病院などのご支援があったからこそ実現できたことと存じます。本当に、感謝申し上げます。

今後も川崎市で最大の病床数を有する回復期リハビリテーション病院として、質の高い医療・リハビリテーションをご提供出来ますように、専門職で構成されたチーム医療を実践・継続することがますます重要と考えております。また、川崎市の公的な地域リハビリテーション支援拠点施設として4月で5年目になりますが、引き続き、地域の皆様に必要なリハビリテーションをご提供出来ますように、これからも支援に取り組んでまいります。

最後に、当法人は6つの事業所【麻生総合病院、麻生リハビリ総合病院、総生会訪問看護ステーション、総生会居宅介護支援センター、総生会ロイヤルホーム（有料老人ホーム）、総生会健診センター】より成り立っております。今後は全事業所で協力・連携をさらに強化し、地域住民の方々に質の高い医療・介護・リハビリテーションなどをご提供出来ますように邁進してまいります。皆様方にとりまして幸多き一年となりますよう祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年もあたたかいご支援とご助言を心よりお願い申し上げます。

麻生リハビリ総合病院 病院長 **菅 直樹**





総生会 勤続 23 年
井上 尚子 さん
医療技術部 放射線科 科長

当院の開院に運命を感じました！！

永年勤続職員紹介、今回は、診療放射線技師として当法人に 23 年勤続している井上さんです。レントゲンを始め、CT や骨密度測定など、あらゆる機械を一手に引き受け撮影しています。いつも笑顔の井上さんに色々お話を伺いました。

Q、現在の職業に就いた理由は？ 総生会を選んだ理由は？

A、姉が臨床検査技師になり、自分にも出来る医療職はないかと調べたところ、診療放射線技師を知り、画像を作る職種に興味をもちました。

総生会は、家から通いやすく、アルバイト募集があり 2001 年 2 月より通い始めました。その年の 10 月に麻生リハビリ総合病院が開院し正職員募集するといわれ、運命を感じ就職しました。

Q、仕事のやりがいは何ですか？

A、治療に役立つ画像が作成できた時と、検査を頑張ってくれた患者様に「お疲れ様でした」「ご協力ありがとうございます」と声をかけたら患者様が笑顔になってくれた時、良かったと思えます。

Q、子供のころになりたかった職業は？

A、ナースキャップをかぶった看護師さんがとても輝いてみえて、「白衣の天使になりたい！あの制服が着たい！」と、幼稚園の時に絵を描いた事を覚えています。

Q、当院の良いところはどこだと思いますか？

A、職員の皆さんが患者様の事を考えていて、対応が優しいところです。

Q、仕事を頑張った時のご褒美は？

A、長風呂にビールです！！

Q、患者様に一言メッセージ

放射線科の検査は、被ばくの事・検査時間はどれくらい？・着替えの事・撮影体位がづらい・この検査で何がわかるのか等不安な事や要望等がたくさんあると思います。

すべて解決できるとは言えませんが、ご協力できる事はあると思います。どうぞお気軽にお声がけ下さい。

患者様が不安に感じないようにいつも笑顔で心がけています！



意欲的に学会発表に取り組んでいます！

第43回 回復期リハビリテーション病棟協会研究大会

今回、病棟での患者受け持ち方法の見直しを図り、新たにプライマリー制度※導入に取り組んだ成果について、熊本で開催された研究大会で発表してきました。

同じような悩みを持った病院や、看護師だけでなくセラピストからもこの取り組みを試してみたいといった意見も聞かれ、今後の取り組みへの良い刺激になりました。講演や演題発表を聴講し、他病院の様々な取

り組みを知ることで、回り八看護師としての現状を振り返ることができました。

自らの課題を見据えた有効なチームアプローチやカンファレンスの在り方、退院支援など意欲的に取り組んでいきたいと思える、とてもいい経験となりました。

(看護師 恒松さん)

※プライマリー制度とは、1人の患者様に対して1人の看護師が入院から退院まで責任を持ち、看護計画の立案や評価などを行う方式のこと。患者様に合わせた看護を提供しやすくなります。



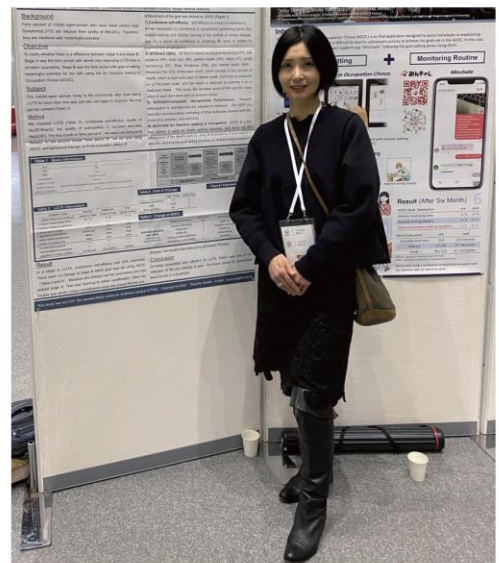
アジア太平洋作業療法学会・日本作業療法学会

11月6日～10日、7cmもの積雪を記録した札幌で、アジア太平洋作業療法学会、日本作業療法学会がありました。

前者では、私が大学院で行っている研究『尿失禁で悩んでいる中年女性を対象に、諦めていた活動が再開できるように目標設定をした介入研究』について発表しました。後者では、当院の排尿ケアチームの作業療法士として『排尿困難な羞恥心の強い女性に対して、自己導尿の適応評価の工夫』について発表しました。

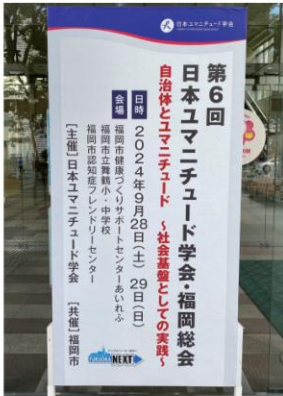
当院の排尿ケアチームの取り組みについては多数質問をいただき、とても貴重な経験となりました。今後も排尿自立を目指して、より良い医療が提供できるように研鑽を積んでいきたいと思えます。

(作業療法士 佐々木さん)



第6回 日本ユマニチュード®学会

9月に福岡で開催されたユマニチュード学会に参加し、当院のユマニチュード活動についての発表を行ってきました。ユマニチュードとはフランスで生まれた「あなたのことを大切に思っています」というメッセージを相手に理解できるように伝えるケア技法のことです。



今回発表してきた内容としては、ユマニチュード研修を受けた当院スタッフが今まで難しいと感じていた患者様への対応が、ユマニチュード技法を使うことにより良い反応へとつながったと意見があり、その要因を分析し、まとめました。学会では様々な施設がユマニチュードをどのように取り入れているのか、今後どのように広げていく必要があるのかなどを学ぶことができました。(言語聴覚士 西口さん)



「HUMANITUDE およびユマニチュードの名称およびそのロゴは、日本国およびその他の国における仏国 SAS Humanitude 社の商標または登録商標です。」

回復期リハビリテーション病棟協会 第174回 全職種研修会

『多職種協働で行う退院予測と退院支援～効率性と個別性の追求～』というテーマで講義とワークショップを行いました。看護師・理学療法士・作業療法士と社会福祉士でチームとなり、仮定した患者様に対して、各職種の初回インテーク面接、初回カンファレンスをもとに退院支援計画を作り、FIM 予測やゴール設定はリハビリスタッフを中心に組み立て、2日間にわたって検討しました。

患者様の希望にある『車の運転再開』というニーズについては特に議論を重ね、実際の他院での取り組みを参考に退院後のケアプランを作成し、提案させていただきました。

ICF（国際生活機能分類）を活用したチームマネジメントのワークショップでしたが、様々な視点から多職種が連携し、患者様のニーズについて深く向き合い、チーム医療の強みを感じられる、とても貴重な経験となりました。また、今まで検討する機会がなかった【退院3か月後の参加目標】に触れ、今後の支援では積極的にこの目標を取り入れ、地域福祉に繋げて行きたいと思いました。

(社会福祉士 篠崎さん)

初回	心身機能	機能障害	活動	活動制限
初回	歩行能力低下 上下肢の力不足	認知機能低下 記憶力低下 集中力低下 判断力低下 実行機能低下 社会生活技能低下	歩行能力低下 上下肢の力不足 認知機能低下 記憶力低下 集中力低下 判断力低下 実行機能低下 社会生活技能低下	歩行能力低下 上下肢の力不足 認知機能低下 記憶力低下 集中力低下 判断力低下 実行機能低下 社会生活技能低下
2回目	歩行能力向上 上下肢の力増進	認知機能向上 記憶力向上 集中力向上 判断力向上 実行機能向上 社会生活技能向上	歩行能力向上 上下肢の力増進 認知機能向上 記憶力向上 集中力向上 判断力向上 実行機能向上 社会生活技能向上	歩行能力向上 上下肢の力増進 認知機能向上 記憶力向上 集中力向上 判断力向上 実行機能向上 社会生活技能向上
3回目	歩行能力向上 上下肢の力増進	認知機能向上 記憶力向上 集中力向上 判断力向上 実行機能向上 社会生活技能向上	歩行能力向上 上下肢の力増進 認知機能向上 記憶力向上 集中力向上 判断力向上 実行機能向上 社会生活技能向上	歩行能力向上 上下肢の力増進 認知機能向上 記憶力向上 集中力向上 判断力向上 実行機能向上 社会生活技能向上



当院からは、社会福祉士、理学療法士、管理栄養士、看護師、看護補助者の5名が出席しました。

中学生職場体験を開催

11月、当院にて川崎市立生田中学校の職場体験を計画・実施しました。
当日は中学2年生2名が来て下さり、病院内の見学と各職種の仕事内容などを説明しました。
また、看護部とリハビリテーション科ではそれぞれの業務見学や体験をいくつも準備し、中学生に興味のある項目を選択してもらいながら進めていきました。入院患者様にもご協力いただき、有意義な体験を実施することができました。
職員は将来の職業選択に役立つアドバイスや仕事のやりがいなど、中学生に向けて熱心に話をしており、“将来、医療従事者を目指していただけるように…”と、「10年後、待ってるね!」「ぜひ〇〇師に!」と各職種が様々なアピールもしていました。
このような職場体験の受け入れは自身の職業観を振り返る良い機会となり、病院内の活気にも繋がりました。今回体験された中学生が将来なりたい職業に就けますように…。



「将来なりたいのはどの職種?」
中学2年生 2名にご参加いただきました

『秋の文化展』で芸術の秋を堪能



「文化の日」にちなんで、院内で「秋の文化展」が開催されました。
色とりどりの折り紙で作製された「クジャク」や、秋の味覚である「ぶどう」、色鮮やかに塗られた塗り絵や、味のある俳句など、入院患者様が一生懸命作製された素敵な作品が、1階ロビーに飾られました。
入院患者様や来院された方々が足を止めて鑑賞されている姿が多く見られました。



色鮮やかな塗り絵や、味のある俳句、芸術的な立体作品などが並びました!

地域の秋祭りに参加！

『第26回禅寺丸柿まつり』『第42回あさお区民祭り』

毎年行われている秋の恒例イベント「禅寺丸柿まつり」「あさお区民まつり」に麻生総合病院と合同で参加しました。

10月12日に柿生駅前で開催された「禅寺丸柿まつり」では、看護師による血圧測定、血糖測定、握力測定を行いました。翌日10月13日には「あさお区民まつり」が開催され、麻生区役所前広場に設置された長寿ブースで理学療法士がInBody（体成分分析装置）で筋肉量などを測定し、運動方法についてのアドバイスを行いました。どちらも大変好評で、皆様の健康意識の高さが伺えました。今後も参加予定ですので、足を運んでいただけますと幸いです。



川崎市病院協会優良職員表彰

川崎日航ホテルにて優良職員表彰式・表彰祝賀会が開催されました

川崎市病院協会より、当法人の職員6名が優良職員として表彰されました。9月25日に行われた表彰式・祝賀会では、会員病院への永年従事が称えられ、笑顔が輝く素敵な式典となりました。麻生リハビリ総合病院からは、放射線科の井上さん、看護師の今村さん、作業療法士の大塚さんが表彰されました。今後の益々のご活躍を祈念しております。



Information

直近6か月（2024年4月～9月）の診療実績報告

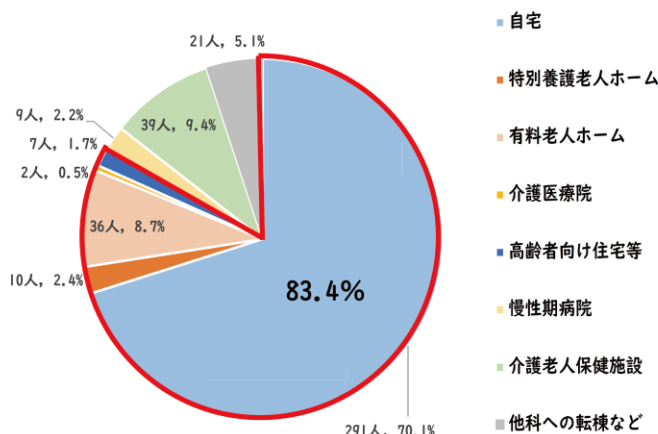
当院の診療実績は、施設基準の中でも「実績指数」や「退院時の日常生活機能評価4点以上改善割合」の数値が基準を優に超えており、質の高いリハビリテーションが提供できている結果となっております。

回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅰの実績要件		当院の診療実績
リハビリテーション実績指数	40以上	53.6
自宅等に退院する割合	70%以上	83.4%
重症患者の割合	40%以上	47.9%
退院時の日常生活機能評価4点（FIMI6点）以上改善割合	30%以上	77.5%

在宅復帰率（退院先内訳）

退院先	2024年4月～2024年9月	
	人数	割合
自宅	291人	70.1%
特別養護老人ホーム	10人	2.4%
有料老人ホーム	36人	8.7%
介護医療院	2人	0.5%
高齢者向け住宅等	7人	1.7%
慢性期病院	9人	2.2%
介護老人保健施設	39人	9.4%
他科への転棟など	21人	5.1%
合計	415人	100.0%
一般病棟への転院	26人	6.3%
在宅復帰 合計	346人	83.4%

在宅復帰率 2024年4月～2024年9月



面会について

面会者は、ご家族様またはキーパーソンの方に限らせていただきます。

面会時間：14時～18時（日曜・祝日も同じ）、面会予約の必要はございません。

詳細はお気軽にお問い合わせください。

※感染症の発生状況により、面会を中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承くださいませよう願ひ申し上げます。

日本医療機能評価機構認定病院

麻生リハビリ総合病院は【日本医療機能評価機能】の認定病院です。

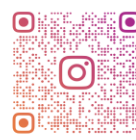
- ・本体審査 リハビリテーション病院
3rdG : ver. 2.0
- ・高度・専門機能 リハビリテーション（回復期）
ver. 1.0



麻生リハビリ総合病院 院外広報誌 第18号

医療法人社団 総生会 麻生リハビリ総合病院
〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生 6-23-50
TEL (044) 981-6878 (代表) / Fax (044) 981-6871

発行者：広報委員会
発行日：2025年1月1日



Instagram



ホームページ